

ケアネットせとうち 通信

安心して暮らせる地域を目指して

瀬戸内市の地域包括ケアシステム

瀬戸内市の人口における 65 歳以上の高齢者が占める割合は、平成 27 年 4 月 1 日現在で 31.7% を迎え、一部の地域では 40% を超えています。この状況は全国の割合（26.4%）を大きく上回っており、私たちが生活している地域でも急速に高齢化が進んでいるといえます。

このような状況の中、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年（平成 37 年）以降は、地域の医療や介護、福祉サービスに対する需要が更に高まるといわれています。このため、国は、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで続けることができるよう、地域の医療・福祉・保健が連携した支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の仕組みづくりを推進しています。

瀬戸内市は、地域包括ケアシステムを推進するにあたり、平成 25 年度より保健福祉部へトータルサポートセンター準備室を設置し、在宅医療・福祉・保健のネットワークづくりに取り組んでいます。

同時に、邑久医師会をはじめ、福祉、介護、保健分野の専門職で瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会をつくり、協議会の愛称を「ケアネットせとうち」としました。

ケアネットせとうちでは専門職を対象とした意見交換会や研修会を開催し、多職種連携やスキルアップに励んでいます。瀬戸内市が安心して暮らせる地域となるよう、市民のみなさんと医療・福祉・保健等専門職の力で「笑顔で長生きできるまち」を目指し、市民のみなさんに在宅医療・介護等について学んでいただくための市民講座、在宅医療普及講演会等も開催しています。ぜひ、ご参加ください。

在宅医療普及講演会のご案内

「家で死を迎えるのも、いいですよね」

鳥取県 野の花診療所 院長 徳永 進 氏

日 時：平成27年11月21日(土)
13時30分～15時(13時開場)
会 場：ゆめトピア長船
定 員：400名 ※事前申込み不要

在宅医療・介護について
みんなで考えてみませんか



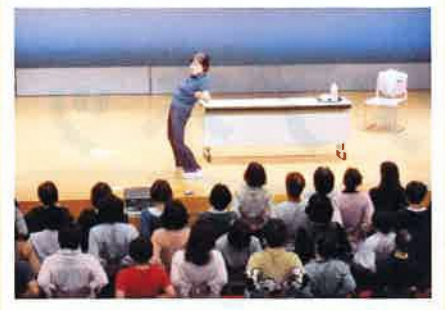
平成 27 年度 愛育委員栄養委員合同研修会

講演：「愛育委員・栄養委員の力で健康寿命を延ばそう」

講演：健康運動指導士

レクリエーションコーディネーター

高見 博子 氏



平成 27 年 5 月 9 日（土）ゆめトピア長船で、平成 27 年度愛育委員栄養委員合同研修会が開催されました。

健康運動療法士・レクリエーションコーディネーターの高見博子氏を講師に迎え、愛育委員・栄養委員の地域活動やストレッチ体操など、健康に生活するためのポイントについてお話を伺いました。健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を「健康寿命」と言います。

高見氏は、「ちょっとした運動を毎日続けることや足の力を維持することが大切。自らも楽しんで地域活動を行うことがみなさんの健康寿命を延ばすことにつながる。」と話され、簡単にできるストレッチを参加者のみなさんと体験しました。はつらつと過ごす毎日は、健康寿命を延ばすための第一歩です。

みなさんの力で、元気な地域をつくっていきましょう。



「笑顔で長生きできるまち」実現のため健康づくり・医療・介護について学びました



パネルディスカッションの様子

市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」

テーマ

「人生の最期を安心して迎えるために

～在宅医療・介護の立場から～

平成 27 年 5 月 16 日（土）瀬戸内市総合福祉センターにて市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催し、市民のみなさん、医療・介護職のみなさんが約 100 名参加されました。

医師・歯科医師・介護支援専門員・小規模多機能ホームの立場でパネルディスカッションを行い、福祉用具や栄養補助食品など在宅医療・介護用品の展示も行われました。

「これからの高齢社会は大きな問題・課題があることを実感した」「在宅で最期を迎えるには、本人や家族の覚悟が必要」などの感想があり、住み慣れた地域で笑顔で自分らしく過ごすため「どうすればよいか?」「何が必要なのか?」考える機会になりました。



在宅医療・介護用品の展示コーナー

＜ケアネットせとうち事務局＞

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター準備室

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 862-1（瀬戸内市総合福祉センター内）

電話：0869-22-3800 FAX：0869-22-3801

